

FAX送信

FAX: 029-301-5339

[茨城県教育庁総務企画部生涯学習課振興担当] 宛て

第3回大会 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会 【参加申込書】

ふりがな				性別				
氏名				男・女				
所属			役職					
連絡先	電話:							
	電子メール:							
大会の出欠等 ※ 希望する事項に○をつけてください。								
第1日目 10月7日(土)	大学生協の利用(昼食)		希望あり・希望なし					
			参加・不参加					
	事例発表	①14:00~14:45	会場	A	B	C	D	E
		②14:55~15:40	会場	A	B	C	D	E
		③15:50~16:35	会場	A	B	C	D	E
④16:45~17:30		会場	A	B	C	D	E	
情報交換会		参加・不参加						
※ 大学周辺には、飲食店等が少ないので、ご承知ください。		※ 情報交換会は、会費制です。【会費：3,000円】						
第2日目 10月8日(日)	特別講演	参加・不参加						

※ 個人情報、本大会に関すること以外の目的では使用いたしません。  
 ※ 当日の様子(写真、動画等)につきましては、ホームページ(SNSを含む)や報告書等で使用することをご了承ください。  
 ※ チラシ等のブース出店を希望する団体については、個別にご連絡ください。  
 ※ 宿泊については、個人でご対応ください。

《申込締切》平成29年 9月15日(金)

《参加方法》参加申込書を **メール・FAXで送付** してください。

《申込み・問合せ先》

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課振興担当

✉ [shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp)

✉ FAX: 029-301-5339

TEL: 029-301-5318 〒310-8588 水戸市笠原町978番6

《会場案内》

茨城大学水戸キャンパス

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行き(栄町経由)」に乗車後、「茨大前」で下車。  
 (バス乗車時間は、約30分です)

※ できるだけ公共交通機関をご利用ください。



社会教育の大きな波を起こそう! Let's raise a Big Wave!

第3回大会  
 実践研究交流会  
 生涯学習・社会教育  
 関東近県

日付 平成29年 10月7日(土)~8日(日)

会場 茨城大学 水戸キャンパス

参加費 無料 (どなたでも参加できます)

・スーツでの参加は、できるだけご遠慮ください!  
 ・ノーネクタイ普段着での参加をお願いしております!  
 ・名札・名刺の持参をおすすめします!

最新情報

関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会



主催 茨城県教育委員会 茨城大学社会連携センター 茨城県生涯学習・社会教育研究会  
 主管 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会  
 後援 福島県教育委員会 栃木県教育委員会 群馬県教育委員会 埼玉県教育委員会  
 千葉県教育委員会 神奈川県教育委員会 国立青少年教育振興機構  
 茨城県社会教育委員連絡協議会 茨城県公民館連絡協議会  
 協力 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 茨城県教育庁社会教育主事会

## 持続可能な地域をつくるために、 `グローバルに考えローカルに行動する、社会教育の大きな波を起こそう`

この関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会は今年で3回目を迎えます。地域においてこれまでとは違う新たな構想と手法で社会教育の実践に取り組む団体・サークル等を発掘し、その活動を広く知って貰うことで可能性を広げるこの交流会は、一昨年、文部科学省「学びによる地域活性化プログラム普及・啓発事業」に採択されました。昨年の第2回交流会は、1都10県から延べ515名の参加者を迎え、盛大に実りある交流会となりました。

人口減少と少子高齢化が進む中で、今、全国で「地方創生」や「一億総活躍社会」のスローガンのもとに、活力ある地域づくりを進める様々な取り組みが展開されています。大事なことは、「学び合い・伝え合い」があつてこそ、地域づくりの活動は人と人との信頼を増し、絆を強め、持続可能な地域づくりに発展するということです。

地域が抱える問題は日本中共通するものが多く、それだけ県域を越えて広く交流することで、大きなネットワークができ、より大きな力を得ることにつながるはず。

今、中教審の「地域学校協働答申」や、それを受けた「次世代の学校・地域創生プラン」では、学校と地域の新しい連携・協働の在り方が強く期待され、さらに次期学習指導要領でも、「社会に開かれた教育課程」を実現するために、学校教育にも社会教育の活力を組み込む工夫が求められるなど、社会教育への期待が一層大きくなってきています。

今大会は、関東近県からの20の実践事例の発表・討論、参加者の出会いと対話の場となる情報交換会、全体会、講演会と盛り沢山です。今年、茨城大学学長の三村信男先生が、地球規模で進む気候変動というグローバルな問題の解決には、私達が地域というローカルな場で学び、手をつなぎ、行動することが大事だとわかりやすく解説して下さい。

本大会が、特に地域課題に取り組む学びと実践に汗をかいている多くの仲間たちの集いの場となるように、沢山の方々のご参加を心からお待ちしております。



関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員長／茨城大学名誉教授 菊池 龍三郎

**DAY 1**  
10月7日(土)

《オープニング》 13:00~ (教育学部棟)  
《事例発表》 14:00~ (教育学部棟各教室)

① 14:00~14:45 ② 14:55~15:40 ③ 15:50~16:35 ④ 16:45~17:30

《情報交換会&第3回大会交流会》 18:15~ (学生協食堂)

### 【学校・家庭・地域の連携①】

	発表テーマ	発表者
会場 A	① 子どもたちの笑顔と輝きを求めて ~ぬかだサタデースクールの実践から~	茨城 ぬかだの子どもを守り支える会 会長 成田 敏行
	② 栃木市型教育システム「とちぎ未来アシストネット」 ~ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり~	栃木 栃木市教育委員会事務局生涯学習部 生涯学習課 副主幹兼社会教育主事 早乙女 豊
	③ 公民館・コミュニティ施設を利用した学びでつながる寺子屋事業	千葉 (公財)四街道市地域振興財団 四街道市立四街道公民館 施設長 福本 由香里
	④ コミュニティ・スクールでふるさと栗橋とともにある学校をめざして ~子どもたちが育ち 保護者や地域の方々も輝き ひとつにつながるために~	埼玉 久喜市立栗橋南小学校 教頭 朝武 紀雄

### 【学校・家庭・地域の連携②】

	発表テーマ	発表者
会場 B	① 北茨城市立図書館との連携による学び ~高校生の実践より~	茨城 県立磯原郷英高等学校 教諭 堀 美智子
	② 今、学校・家庭・地域が子どもたちのためにできること 「チャレンジ手帳ちよだっ子」の実践から ~2050年の大人づくり~	群馬 千代田町社会教育委員会 委員長 柿沼 正博
	③ 学校と地域が一体となった魅力ある学校づくりを目指して 「おくのキャンパス コミュニティ・スクール」の取組	茨城 牛久市立牛久第二中学校 教諭 仲澤 潤
	④ 地域から学校を核とした、新たな人・街・学びへの取組 ~挑戦する学校は、元気な街をつくる源~	千葉 みらいスマイルコミュニティーズ みどりが丘小学校区 代表 鈴木 介人

以下、ご了承ください。  
※日程や会場、発表テーマ、発表者等については、変更になる場合があります。  
※昼食等については、第1日目は、学生協が【11:00~13:30の間オープン】しておりますのでご利用ください(当日は混雑が予想されます)。

### 【地域課題の解決に向けた取組①】

	発表テーマ	発表者
会場 C	① 襲(ケ)の再生「鯨ヶ丘商店会の活動」 ~県北芸術祭(アート)と商店街の関係~	茨城 鯨ヶ丘商店会 会長 渡辺 彰
	② コミュニティカフェは地域の要	埼玉 ヘルシーカフェのら(合同会社のら) 代表社員 新井 純子
	③ 冒険遊び場の運営を通じた地域との関わり	神奈川 ドリームプレイウッズ管理運営委員会 委員長 澁谷 敏夫
	④ 知的障害者の生涯学習と生きる力について ~千代田区日曜青年教室・自主サークル 「ヘルマンハーブちよだ」の活動から~	東京 千代田区地域振興部生涯学習・スポーツ課 生涯学習指導員 工藤 真由美

### 【地域課題の解決に向けた取組②】

	発表テーマ	発表者
会場 D	① コロケで街おこし ~中心市街地活性化策として~	茨城 龍ヶ崎まいんコロケ 代表 吉田 京子 龍ヶ崎市商工会 事務局長 大竹 昇
	② 青少年の多様な体験活動の場の提供 ~子どもの体験施設「こども未来創造館」の企画から運営~	東京 足立区教育委員会事務局子ども家庭部 青少年課 青少年・家庭教育係長兼 社会教育主事 村上 長彦
	③ 障害のある方の生涯にわたる学習の充実をめざして ~さわやか青年教室の事例を通して~	千葉 さわやかちば県民プラザ事業推進課 主査 福地 健太郎 副主幹 遠山 宗利
	④ 農を通じた自立型人間の育て方	福島 福島県農業総合センター農業短期大学校 教務主任 齋藤 義雄

### 【青少年教育】

	発表テーマ	発表者
会場 E	① 継続できるエネルギーの源は何か? ~長期キャンプ体験27年の軌跡~	茨城 鹿嶋市教育委員会社会教育課 係長 水野 喜行
	② チャンスフォーオールチルドレン in 赤城 ~生活習慣改善につながる体験活動プログラムについて~	群馬 国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職 梁河 昌彦
	③ 幼稚園・保育園との連携による運動能力や体力の基礎を養う 体験と場の提供について	福島 国立磐梯青少年交流の家 企画指導専門職 葛岡 文治 企画指導専門職 大高 靖行
	④ 地域力を生かした青少年教育への取組 ~まるごとふくしま冒険キャンプ2017~	福島 国立那須甲子青少年自然の家 企画指導専門職 西村 孝幸

## 情報交換会&第3回大会交流会

**DAY 2**  
10月8日(日)

《特別講演会》 9:30~ (教育学部棟)  
《全体会》 11:00~ (教育学部棟)  
《クロージングトークセッション》 11:30~ (教育学部棟)

時間	内容	会場
9:30~11:00	特別講演 国連持続可能な開発目標(SDGs)がめざすもの ~世界と地域はどうつながっているのか~ 国立大学法人茨城大学 学長 三村 信男 先生	教育学部棟
11:00~11:30	全体会(シェアリング:関係者間での出会いと対話)	

### クロージングトークセッション

〈コーディネーター〉:木村 競氏(茨城大学副学長・全学教育機構長)  
〈登壇者〉:小沼公道氏(茨城県高萩市教育委員会教育長)  
井上昌幸氏(栃木県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐)